

入院診療計画書「頸部の手術を受けられる

さんへ」

(病名)

(症状)

(説明日)

年 月 日

(ご本人・ご家族)

確認サイン

経過 月 日	入院～術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目以降	退院時
到達目標	入院当日から手術前までのスケジュールがわかる。		手術の安静の目的が理解でき、出血や感染の予防に努めることができる。		退院後の生活について理解できる。	
治療 処置	入院中は病棟の診察室で、診察があります。 麻酔科の診察があります。	手術開始予定時間は (:)です。	酸素吸入を行います。 尿管が入っています。 創部に管が入ります。 創部の圧迫をします。 3時間心電図モニターを装着します。	酸素を中止します。 朝、尿管を抜きます。	手術後3日目位で 創部の管が抜け、 翌日から圧迫は 解除されます。	退院前に診察があります。 
手術 検査	□無 ・ □有 (術式: 身長・体重を測ります。		必要に応じて採血などを行います。			
薬剤 服薬指導	日頃飲んでいる薬があれば お知らせ下さい。 薬アレルギーや副作用があれば お知らせ下さい。 薬剤師が薬の説明を行います。	8時頃医師が点滴を開始します。 (6時・9時)に薬を内服します。	維持点滴と抗生剤の点滴を します。 	食事が入れれば維持点滴 は終了します。 抗生剤の点滴が1日2回 あります。	抗生剤が内服へ 変更になります。 	薬剤師が薬の説明を行います。 
全身管理 症状	体温・脈拍・血圧などを測ります。 今までの経過や合併症などについて 伺います。 	体温、脈拍、血圧を測ります。	体温、脈拍、血圧を適宜測ります。 痛みや息苦しさがありましたらお知らせ下さい。			
食事 栄養指導	特別な栄養管理の必要性 □有 ・ □無 ()食です。	(0時・朝食後)以降は 食べられません。 ()以降は飲水も できません。	食べたり飲んだりできません。	お腹が動いているのを確認した後、 □)から食事が始まります。	制限はありません。	
安静	制限はありません。	病棟内でお過ごし下さい。	ベッド上安静です。 頸部の安静に努めてください。	トイレまでは歩行 できます。	病棟内でお過ごし 下さい。	制限はありません。
清潔	入浴していただきます。 		入浴できません。	首下シャワー浴ができます。 男性:月水金、女性:火木土 医師の許可があれば介助で洗髪ができます。	制限はありません。	
患者・家族 への説明	入院治療計画書について説明します。 翌日の手術内容や合併症など について説明します。 (/ 、 時頃の予定) ※急患や手術などにより遅れる場合も ありますのでご了承下さい。 治療・福祉などの相談がある場合は、 看護師か相談員にお尋ねください。 	手術同意書を提出して下さい。	主治医から術中所見の 説明があります。 	術後の経過については、診察時などに適宜 説明します。 ご不明な点は主治医にお尋ね下さい。	退院後の生活について指導します。 原則として退院は午前中 にお願いします。 	

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名